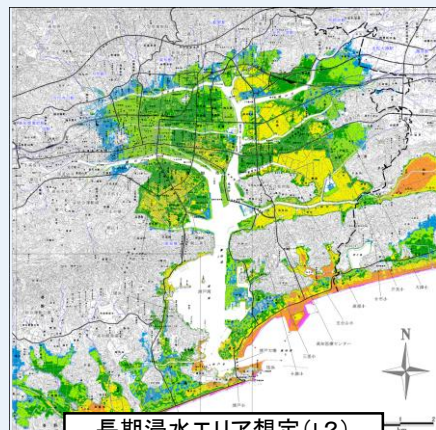


1 災害に強いまちづくり

○ 南海トラフ地震長期浸水エリアにおける避難・救出対策について

高知市では、南海トラフ地震に起因する地盤沈下や津波による浸水により、長期間浸水するエリアが発生することが想定される

今後、この長期浸水エリアにおける避難対策や救出対策を具体化していく必要性



避難対策

長期浸水被害対策の周知

救助・救出計画の作成

避難情報発信アプリ運用

津波避難ビル資機材等整備

病院・福祉施設等BCP策定支援

救出対策

浸水区域外避難可能エリアの把握

浸水区域外への避難啓発

避難行動要支援者への支援体制

津波避難ビルの新規指定

救助・救出及び避難後の
避難所(福祉避難所含む)の確保



より実効性の高い具体的な対策を検討するために、市民の皆様のご意見ご提案を反映

平成30年1月18日から、2月25日までの間、「南海トラフ地震長期浸水エリアにおける避難対策」をテーマに5か所で「市長と語ろう会」を開催



会場	開催日 (午後6時半から8時半)
江ノロコミュニティセンター 大ホール	1月18日(木)
弥右衛門ふれあいセンター 体育館	1月25日(木)
南部健康福祉センター ホール	2月8日(木)
アスパルこうち ホール	2月15日(木)
東部健康福祉センター 集会室	2月22日(木)

多くの市民の皆様のご参加をいただき、ご意見・ご提案を避難・救出対策に盛り込むことを検討

平成30年の高知市の重点施策等について

2 安全で機能的なまちづくり

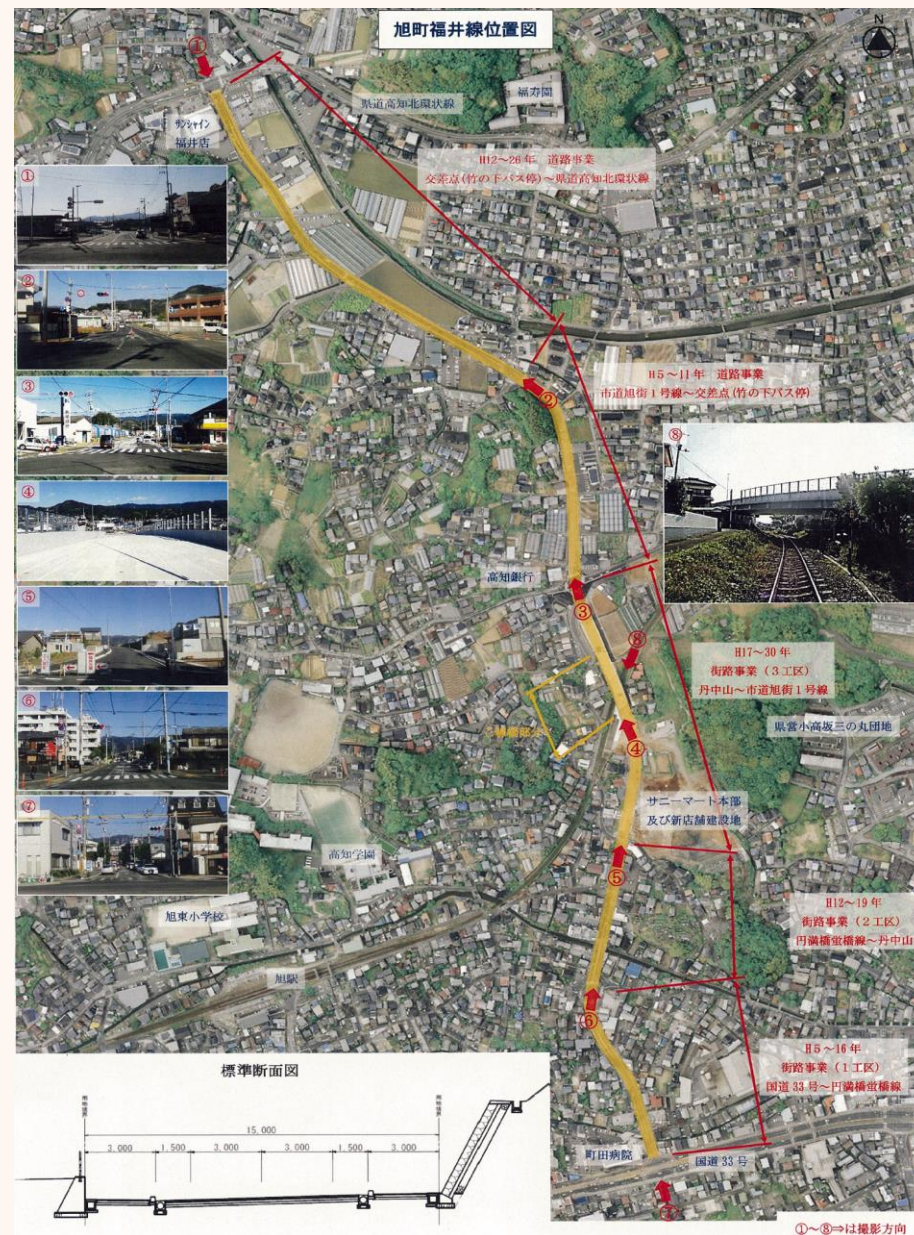
○ 都市計画道路「旭町福井線」について

- 昭和46年都市計画決定
- 事業期間 平成5年度～平成29年度
- 総延長1.6km 幅員12m～28.5m
(旭町一丁目電停交差点から福井の北環状線間)
- 総工費 約7,357百万円
- 本年2月下旬に供用開始予定

全線開通による効果

- ① 周辺の慢性的な渋滞の緩和
- ② 旭東小学校や高知学園などに通学する児童生徒の通学路の安全性の向上

- ★ 「旭町福井線」沿いには、サニーマートの本部及び新店舗の建設も予定
- ★ 地元の町内会連合会の皆様による開通式典の開催の後、供用開始予定



平成30年の高知市の重点施策等について

2 安全で機能的なまちづくり

○ (仮称)中央消防署の建設について

(仮称)中央消防署



- 現在の南消防署(昭和50年建設, S50.10.20開署)を, 市中心部の拠点施設として, より中心市街地に近く, 現在の場所よりも津波浸水想定深の浅い, 筆山町市営住宅の跡地に移転建設
- 今月から現地工事着工
- 来年5月末完成, 2019年度上半期の開署を予定

(仮称)中央消防署の特徴

- 四国最大級の地上30メートル, 10階建ての訓練塔を建設
- 訓練塔内にはマンションやホテルなどの部屋を再現し, 中高層階での災害を想定した実践的な訓練が実施可能

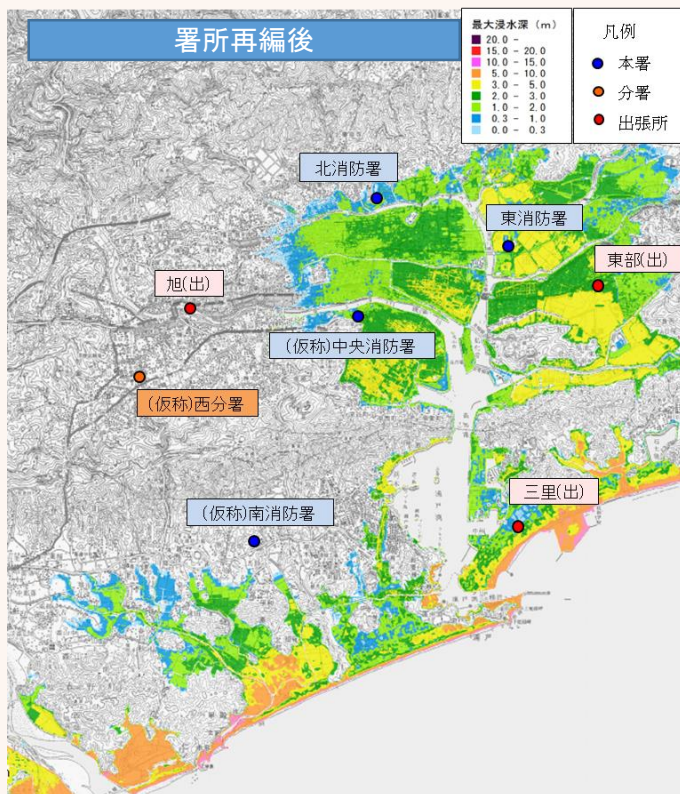


- 南消防署南部分署(平成27年4月1日開署)の訓練塔
火炎、熱気、濃煙を発生させ、実際の火災現場を想定した実践的な訓練が実施可能
- 北消防署(平成29年10月開署)の訓練塔
パンケーキクラッシュ訓練設備を備え, 地震災害を想定した実践的な訓練が実施可能



- 特色ある訓練塔を整備することで, 隊員の多様な災害への対応力を養い, 本市の総合的な消防力の強化を図る

署所再編後



平成30年の高知市の重点施策等について

3 活力溢れるにぎわいのまちづくり

○ オーテピア高知図書館の開館について



これからの高知を生きる人たちに力と喜びをもたらす図書館

平成30年7月24日オープン！！

オーテピア高知図書館

- 全国初の県市合築による図書館
- 中四国最大級規模の図書館が高知に誕生
延床面積は全国10位 (17,763.57㎡)
- 読書スタイルに合わせた各種スペースの設置

閲覧席(615席), 静寂読書室(4室), グループ室(5室), 研究個室(9室), 学習室(96席)



高知みらい科学館

- 高知に40数年ぶりのプラネタリウムが誕生。星空や宇宙に関するオリジナル番組を生解説で投映
- 科学体験ができる展示室, サイエンスショーや科学教室ができる実験室等を整備



オーテピア高知声と点字の図書館

- 文字情報の利用が困難な人への読書・情報サービスの提供
- 「見えない, 見えにくい人」の生活を支援する情報の提供

オーテピア高知図書館		
休 館 日	週休日	月曜日 (祝日の場合は開館)
	祝日	1/1, 8/11 (8月11日は資料特別整理期間のため休館)
	館内整理日	毎月第3金曜日 (8月を除く)
	資料特別整理期間	8月: 4日間 (よさこい祭り期間中)
	年末年始	12/29~1/4
年間開館日数		300日程度
開館時間	火~金	午前9時~午後8時
	土	午前9時~午後6時 (7・8月のみ, 午後8時まで)
	日・祝	午前9時~午後6時

高知みらい科学館	
休 館 日	毎週月曜日 (祝日の場合は開館) 年末年始 12/29~1/4
開館時間	午前9時~午後6時 (金曜日, 7・8月の土曜日は午後8時まで)

※声と点字の図書館の休館日, 開館時間はオーテピア高知図書館と同じ

駐車場・駐輪場	
駐車台数	100台 (平面駐車場40台, 機械式駐車場60台)
駐輪台数	自転車 305台 バイク 82台

平成30年の高知市の重点施策等について

3 活力溢れるにぎわいのまちづくり

○ 産業団地の整備について

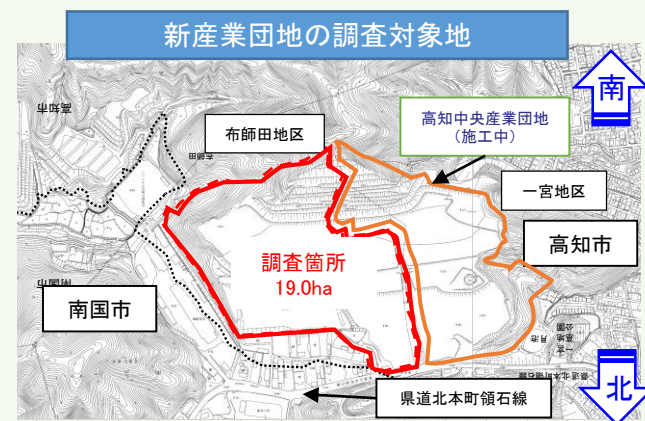
① 高知中央産業団地の整備について



- 平成25年度から高知県と共同で、一宮地区において製造業を対象とした高知中央産業団地の整備に着手
- 平成29年度末の完成を目指し、現在分譲地の造成、団地内道路、及び上下水道施設などの公共施設の整備工事を実施中
- 団地整備工事の完了後、公共施設や分譲地の用地確定測量などを行ない、都市計画法に基づく開発完了の手続きを経て平成30年度早期の分譲を目指す
- 開発面積 約13.2ha
- 分譲面積 約4.7ha

② 新産業団地の整備について

- 調査箇所 高知市布師田地区
- 調査面積 約19.0ha
- 事業内容 新産業団地適地調査
(団地計画構想図作成, 排水対策検討等)
- 県との共同開発に向けた協議を進め、新たな産業団地の開発にスピード感をもって対処



★ 市内企業の流出を防止するとともに、新たな企業誘致を行い、本市の産業振興と雇用の維持・創出を図る。

平成30年の高知市の重点施策等について

4 暮らしをサポートするまちづくり

○ 中学校給食の完全実施について

学校給食を実施していない中学校13校について、給食を実施するための給食センターを整備するもので、併せて大規模災害等の際に最低限の炊き出しが可能となる防災拠点としての機能も持たせるもの。

実施状況		学 校 名
実施	親子方式	城東, 介良, 大津 (3校)
	自校方式	行川学園 (1校)
	センター方式	鏡, 土佐山学舎 (2校)
未実施		城北, 城西, 愛宕, 潮江, 一宮, 青柳, 朝倉, 三里, 南海, 西部, 旭, 横浜, 春野 (13校)

平成30年度の二学期以降で、できるだけ早期の中学校給食完全実施をめざす



市立針木学校給食センター

市立長浜学校給食センター



○ 総事業費 3,890,000千円(平成28年～30年度継続事業)

○ 事業の概要

- ① 高知市内の2か所において、6,000食対応(3,000食対応×2か所)の給食センター建設
- ② 上下水道設備整備工事に着手し、厨房機器等の調達

【針木学校給食センター】

・構造:鉄骨造2階建て

・延床面積:2,642.69㎡

・備蓄倉庫:171.50㎡(同一棟)

【長浜学校給食センター】

・構造:鉄骨造2階建て

・延床面積:2,642.70㎡

・備蓄倉庫:498.00㎡(別棟)

【両センター共通】

・上下水道設備, 太陽光発電設備(30kw), 外構一式 他

・厨房機器, 配膳用備品等

○ 両学校給食センターの給食調理等業務委託事業については、昨年12月に実施した高知市中学校給食センター給食調理等業務に係るプロポーザル選定委員会における審査により、両センターとも、株式会社東洋食品(東京都台東区東上野1丁目14番4号)が優先交渉権者となった。(応募事業者は、針木学校給食センター3事業者、長浜学校給食センター2事業者)

○ 委託期間は、いずれも平成30年9月1日から平成35年3月31日まで

○ 株式会社東洋食品は、全国で2,681校、110万食を超える学校給食の実績があり、適切に業務を担っていただける業者であると考えている。

平成30年の高知市の重点施策等について

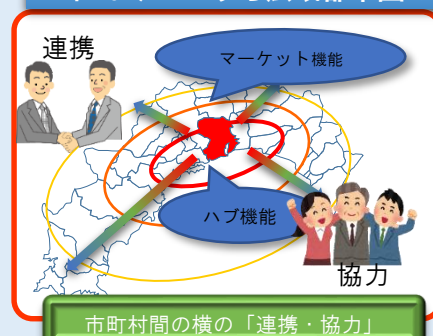
5 新たな協働と連携のまちづくり

○ れんけいこうち広域都市圏について

現在の状況



れんけいこうち広域都市圏の形成



圏域がめざす将来像

キャッチフレーズ

ともにつながり ともに羽ばたき ともに打ち克つ

れんけいこうち広域都市圏

圏域の将来人口の目標（2060年）**約557,000人** 以上

高知県人口
の将来展望

圏域づくりの基本方針・KPI

ア 圏域全体の経済成長のけん引

- ①戦略的な産業振興の推進
- ②強みを活かした経済活性化の促進
- ③地域資源を活かした広域観光の推進

KPI

指標	現状値	目標値
製造品出荷額等	5,260億円(H26)	6,550億円以上(H34)
県外観光客入込数	424万人(H28)	455万人以上(H34)
観光総消費額	1,101億円(H28)	1,324億円以上(H34)
県外からの移住組数	683組(H28)	1,000組以上(H34)

イ 高次の都市機能の集積・強化

- ①高度医療の体制整備
- ②高次の学習・体験機会の提供

KPI

指標	現状値	目標値
高知赤十字病院のドクターヘリ搬入患者数(受け入れのみ)	20人(H28)	150人(H34)

ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ①健康・安心な暮らしを支える地域医療・介護サービスの充実
- ②安心して子育てができる環境の整備
- ③学び・活動の機会を通じた圏域住民の活力向上
- ④災害に強い圏域づくりの推進
- ⑤圏域への関心を高め、愛着を育む取組の推進
- ⑥行政機能向上に資する取組の推進

KPI

指標	現状値	目標値
新規就農者数	276人(H28)	320人以上(H34)
自主防災組織の組織率	93.3%(H28)	100%(H34)
ファミリーサポートセンター設置市町村数	3市町(H28)	13市町村(H34)

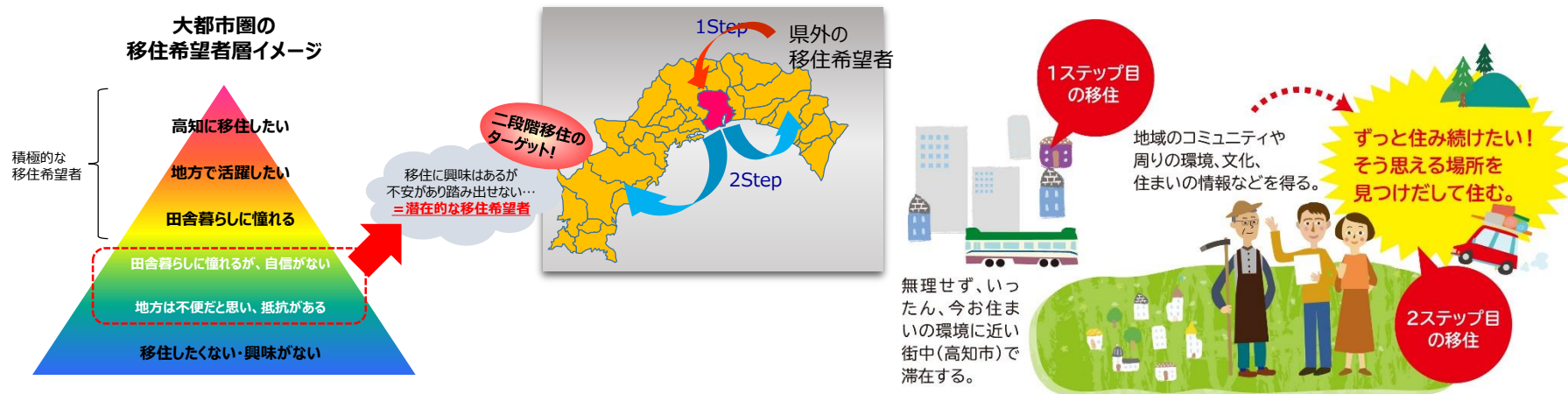
平成30年の高知市の重点施策等について

5 新たな協働と連携のまちづくり

○ 二段階移住推進事業について(れんけいこうち広域都市圏事業)

■事業目的

「田舎暮らしにあこがれるが、その一步がなかなか踏み出せない」、そんな潜在的な移住希望者の不安解消や移住地でのミスマッチを防ぐことを目的に、まずは高知県内で比較的都市部である高知市にいったん移住・滞在してもらい、そこを拠点に県内をめぐり、自分にあった場所を見つけて、最終的に安心して移住していただき、圏域での移住・定住の促進を図る。



POINT 1 二段階移住会員証「すてっぷ移住パスポート」発行

二段階移住希望者に対し、二段階移住会員証「すてっぷ移住(イズム)パスポート(仮称)」を発行。二段階移住希望者を事前に把握するとともに、**移住希望者へのアプローチや各市町村との連携**など、会員証を軸に、より効果的な事業展開を図る。



各市町村窓口でスタンプ押印

POINT 2 高知市への1ステップ目の移住時の補助

1 二段階移住推進補助

潜在的な移住希望者の移住を後押しするために、高知市内の民間物件への入居時の初期費用見合い分を**二段階で補助**する(定額補助)。

1回目 初期費用軽減
不動産業者へ初期費用を支払い後、市に交付申請(入居後1カ月以内)

2回目 二段階推進
高知市を除く県内市町村を3カ所以上巡り終えた時点で、市に交付申請

2 レンタカー補助

高知市にいったん移住した二段階移住希望者が県内市町村を巡る際、交通手段がない方を対象に**レンタカー代の一部を補助**。

二段階移住推進のために必要な戸数

高知市にいったん移住した移住希望者が県内を巡る際に、より詳しい地域情報を得るための手段として、各市町村のお試し滞在施設の相互利用を想定。

県内お試し滞在施設数(48戸)
+
未整備市町村数(15市町村)
=63戸 ÷ 60戸程度
(+県職員住宅「いっく」1戸)